

241121【浜北 017】、【伊勢 B 261】と 11/20 駿河湾南方沖 M5.0 (D250 k m) について



【浜北 017】の大型データは 1/1 の能登地震の後の大きなデータが 7 月頃に減衰し 小さいデータで推移していましたが 数か月間、データの大きさに対応する地震が発生しておりません。また【伊勢 B 261】も大きなデータが長期に続いて 7 月頃に減衰しましたが、やはりデータの大きさに対応する規模が発生していません。その後、【浜北 017】は大きなデータが戻らずに、小さめの山などが出ており、【伊勢 B 261】は 8 月後半から再度データが上昇し、減衰、増加の後、減衰傾向にあります。

この 2 つのデータを 360 日 (1 年) 間で見ると、両方とも長期大型データが 7 月頃から減衰してきて底になったあたりで 8/8 日向灘 M7.1 が発生しています。

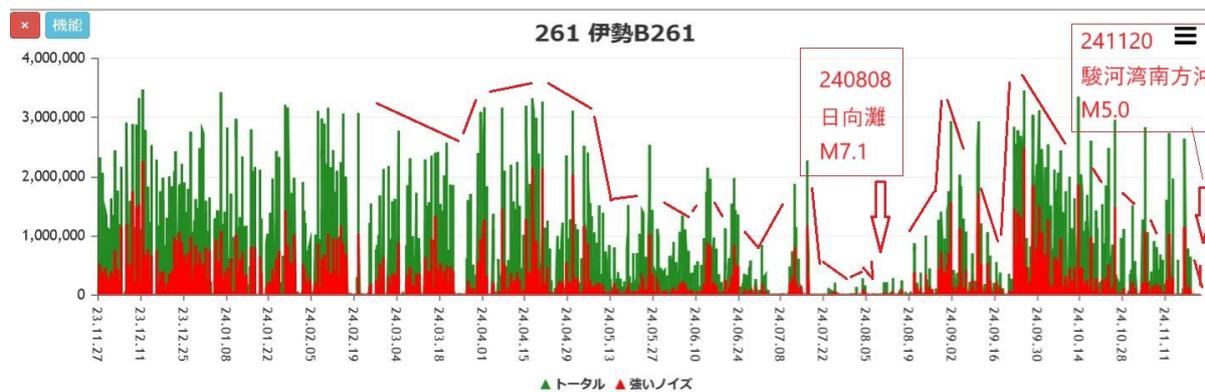
その後、【浜北 017】は小さいデータが続き、11 月に小さい山になって減衰し、【伊勢 B 261】は再度上昇したデータが減衰して 11/20 駿河湾南方沖 M5.0 震源の深さ 250 k m が発生しています。

いままで逆ラジオ通信で何度も、【浜北 017】と【伊勢 B 261】の長期大型データによる発震が無い、と繰り返していましたが あるいは【浜北 017】と【伊勢 B 261】の両観測点のデータは、遠方ですが 8/8 日向灘 M7.1 の前兆データであった可能性が考えられます。過去の事例では 逆ラジオの観測では必ずしも震源から、電磁波ノイズが出るのではなく 地震の規模が大きくなればなるほど震源から遠い観測点でデータが出ます。しかし震源から約 600 k m も離れた観測点で本当にデータを捉えていたかどうか？ 今後検証が必要と考えます。

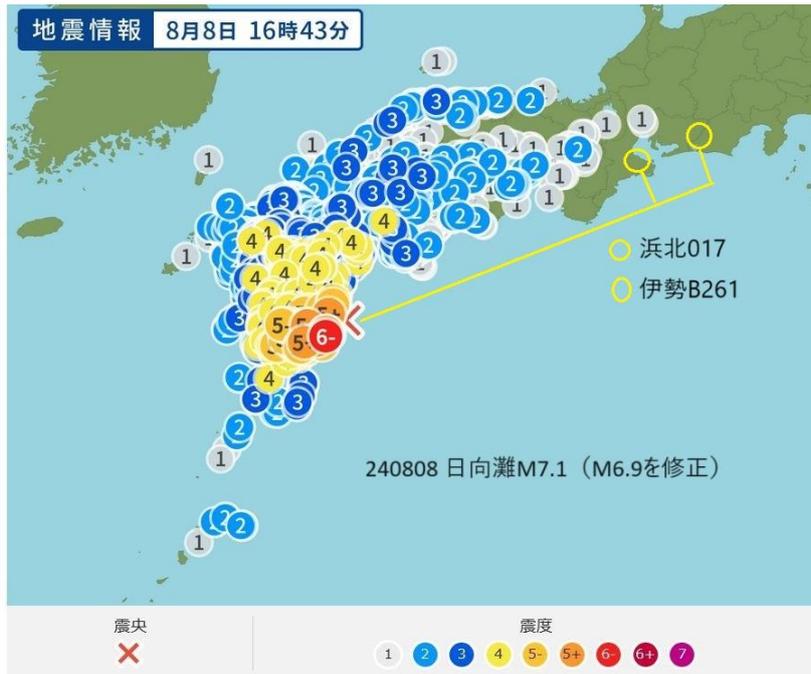
浜北 017 360 日間データ



伊勢 B261 360 日間データ



2024、8/8 日向灘 M7.1



2024、11/20 駿河湾沖 M5.0 D250 km



発生時刻	2024年11月20日 3時36分ごろ
震源地	駿河湾南方沖
最大震度	2
マグニチュード	5.0
深さ	250km